

## 日本体育学会第70回大会

期 間 2019年9月10日(火)、11日(水)、12日(木)

会 場 慶應義塾大学日吉キャンパス

**主** 催 一般社団法人 日本体育学会 日本体育学会第70回大会組織委員会

担 当 日本体育学会 Bブロック 東京

主 管 慶應義塾大学

協 力 東京体育学会 公益財団法人 横浜観光コンベンション・ビューロー

後 援 神奈川県

神奈川新聞社

川崎市

川崎市教育委員会

公益財団法人 日本オリンピック委員会

公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会

公益財団法人 スポーツ協会

スポーツ庁

独立行政法人 日本スポーツ振興センター

横浜市

横浜市教育委員会

読売新聞横浜支局 (50音順)

**大会本部** 〒223 - 8521 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1

慶應義塾大学体育研究所内

日本体育学会第70回大会事務局

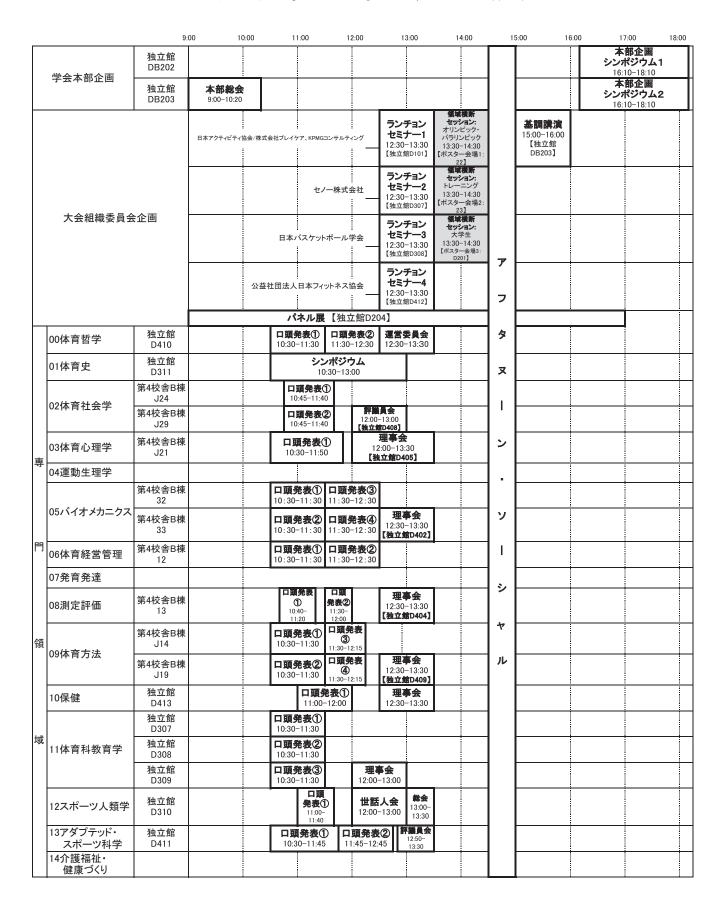
大会ホームページ https://ipe.hc.keio.ac.jp/jspe70/

# 目 次

大会日程	3	日吉台地下壕見字ツァー 28
諸会議のご案内	6	専門領域企画
慶應義塾大学日吉キャンパスへの交通案内	7	領域横断セッション・一般研究発表演題数 44
慶應義塾大学会場案内	8	
慶應義塾大学会場案内 (フロアマップ)	9	領域横断セッション
協賛	12	オリンピックパラリンピック47
大会役員・大会組織委員会	14	トレーニング 49
参加者へのお知らせ	15	大学生 51
発表者へのお知らせ	16	
託児所のご利用案内	19	一般研究発表
一般社団法人日本体育学会 研究倫理綱領	21	00 体育哲学 53
		01 体育史 55
学会本部企画		02 体育社会学 59
企画シンポジウム1	23	03 体育心理学 65
企画シンポジウム2	23	04 運動生理学 74
企画シンポジウム3 (一般公開)	23	05 バイオメカニクス 79
		06 体育経営管理 86
大会組織委員会企画		07 発育発達 90
基調講演	24	08 測定評価 97
特別講演(一般公開)	24	09 体育方法 105
体育史専門領域合同シンポジウム (一般公開)	24	10 保健 119
組織委員会シンポジウム	25	11 体育科教育学 122
ランチョンセミナー1	25	12 スポーツ人類学 133
ランチョンセミナー2 ·····	25	13 アダプテッド・スポーツ科学 135
ランチョンセミナー3	26	14 介護福祉・健康づくり140
ランチョンセミナー4 ·····	26	
ランチョンセミナー5	26	索引
ランチョンセミナー6	27	司会・発表者索引 142
ランチョンセミナー7	27	日本体育学会の推移 151
ランチョンセミナー8	27	広告一覧 153
ランチョンセミナー9	28	
ランチョンセミナー10 ·····	28	
パネル展示	28	



### 大会日程 1日目 9月10日(火)





### 大会日程 2日目 9月11日(水)

		9	:00	10:00	0 1	1:00 1	2:00 1	3:00	14:00	15:	00 16	i:00 1	7:00 18	:00
	学会本部企	画					名誉会員郵談会 12:00-13:00 【独立館D303】				本部: シンポシ 15:00-17:00【	<b>ジウム3</b>		
					大会	÷組織委員会 	ランチョン セミナー5 12:00-13:00 【独立館D101】				大会組機 <b>委</b> シンポ 15:00- 【独立館	ジウム 17:00	特別講演 17:10-18:00 【独立館 DB203】	
					体育	育心理学専門領域	ランチョ セミナ- 12:20-1: 第4校舎BA	<b>-6</b> 3:20						
	大会組織委員会企画		特定	≝非営利活▮	助法人日本トレーニ	ング指導者協会	ランチョン セミナー7 12:00-13:00 【第4校舎B棟J19】							
			一般社	·団法人 E	日本フライング		ランチョン セミナー8 12:00-13:00 【独立館D307】							情
	T	I				ネル <b>展 【</b> 独立	左館D204】 ■			Ļ				報
	00体育哲学	独立館 D410		ンポジ 9:00-11:	:00	総会 11:00-12:00			<b>発表③</b> -14:30					交
	01体育史	独立館 D311	<b>口頭発表</b> ① 9:00-9:40	2	10.00 1		理事会 12:00-13:00 【独立館D312】	<b>口頭発表</b> ⑤ 13:00-13:40	6					
		第4校舎B棟 J24			ンポジウム 9:00-12:00		12	<b>総会</b> 2:45-13:45	口頭発表 13:50-14:	45				- 換 -
	02体育社会学	第4校舎B棟 J29							ロ頭発表 13:50-14: ポスター	45				会
									13:50-14 【ポスター会: D201】	:50				
専	03体育心理学	第4校舎B棟 J21	キーノー レクチャ 9:00-10:	- II		ポジウム 10-12:10		1:	<b>総会</b> 3:30-14:30	7				蛋
	04運動生理学	第4校舎B棟 32				<b>ジウム</b> -12:00		ポスター 発表①② 13:00-13:40 【ポスター 会場3: D201】	ポスター発表 ③④ 13:40-14:30 【ポスター会場 3:D201】	フタ				食堂
門	05バイオメカニクス	第4校舎B棟 33	プレゼン	発表ショー シテーション ① - 10:15		ンポジウム 0:30-12:00	総会 12:00-13:00	13:00	<b>-発表①</b> -14:30 会場2:23】	ヌ				
	06体育経営管理	第4校舎B棟 12		ンポジ 9:00-11		総会 11:00- 11:50		13:00	<b>一発表</b> −14:30 ≿場4:D202】					1 8
	07発育発達	第4校舎B棟 J11	,	ンポジ 9:00-11	:00	口頭発表① 11:00-12:00		口頭発表© 13:00- 13:50	<b>発表③</b> 13:50-14:30	ン ・				: 1 5
領	08測定評価	第4校舎B棟 13	統計・測定 セミナー 9:00-10:	:00	統計相談 コーナー 10:10-11:1	<b>総会</b> 11:20- 12:00			口頭発表 ④ 13:45-14:25	y				1 9
	09体育方法	第4校舎B棟 J14	<b>口頭</b> <b>⑤</b> 9:15-1	10:00		ジウム -12:00	総会 12:00-13:00	13:00	<b>発表①②</b> -14:30 :場1,2:22,23】	ı				9 : 4
		第4校舎B棟 J19	口頭発表 9:00-10:							シ				5
域	10保健	独立館 D413	口頭発表 ② 9:00-9:45		キーノート レクチャー  0:00-11:00	総会 11:00-12:00		13:00	ジウム -14:30	ャールー				
	11体育科教育学	独立館 DB202		ンポジ 9:00-11			総会 12:00-13:00	13:00	<b>一発表</b> −14:30 ≿場3:D201】	70				
	12スポーツ人類学	独立館 D310	<b>口頭</b> <b>発表②</b> 9:00-9:40	<b>口頭</b> <b>発表</b> ② 9:40-10:2	3)	<b>央像上映</b> 0:30-12:00		1;	ンポジウム 3:00-15:00					
	13アダプテッド・ スポーツ科学	独立館 D411			ンポジウム 9:30-11:30	<b>総会</b> 11:30- 12:00		(責任) 13:00	一発表 <b>音座制)</b> -14:30 读場4:D202】	_				
	14介護福祉・ 健康づくり	独立館 D412		<b>ペスター</b> 9:30-10 ポスター会 D202]	:30 場4:	キーノート レクチャー 11:00-12:00	理事会 12:10- 13:00		<b>ドジウム</b> 0-14:40					



# 大会日程 3日目 9月12日(木)

		9:	00 10	0:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
学会本部企画					連絡	<b>会議</b> -12:20 <u>12:3</u>	門領域 絡会議 30-13:20 立館D306]		
				10:0	「壕見学ツアー 0-12:00 は立館D101】			史専門領域 シンポジウム 10 【独立館DB20	3]
	大会組織委員:			体育心理学専門	l領域 12	ンチョン ミナー9 :30-13:30 校舎B棟J21]			
		公益社団法。	人日本オリエンラ	_	ランチョン セミナー1 12:00-13:0 【独立館D41:	00 22]			
					パネル展	【独立館D20	4]		
	00体育哲学	独立館 D410	浅田学術奨励賞 受賞記念講演 9:00-10:00	口頭発表 10:10-11:					
	01体育史	独立館 D311	口頭発表⑦ 9:00-10:00	口頭発表® 10:00-11:00	口頭発表 <b>9</b> 11:00-12:00	)			
		第4校舎B棟 J24	<b>口頭発表</b> 9:00-10:2	5 1	1頭発表 <b>8</b> 0:30-11:55		口頭発表( 13:00-13:5	55 14:00-14:55	5
	02体育社会学	第4校舎B棟 J29	9:00-10:2	5 1	0:30-11:55		口頭発表( 13:00-13:5	55 14:00-14:55	
		第4校舎B棟 39	ロ 頭: (7 9:30-1 ポスター発表①	10:25	頭発表値 0:30-11:55		13:00-		
専	03体育心理学	第4校舎B棟 J21	(責任着座制:奇教) 9:00-10:00 【ポスター会場 1,2:22,23】	<b>(責任着座制:偶数</b> 10:00-11:00 【ポスター会場 1,2:22,23】	特別	<del>-</del>		口頭発表② 13:40-15:00	
	04運動生理学	第4校舎B棟 32	口頭発表(1 9:00-10:15						
		第4校舎B棟 J11	口頭発表② 9:00-10:15	1	1頭発表④ 0:30-12:00				
門	05バイオメカニクス	第4校舎B棟 33	口頭 発表⑤ 9:00-9:45	ポスター発表ショー プレゼンテーション ② 10:00-11:00	ト レクチャー 11:00-12:00		13:00	<b>-発表②</b> -14:30 会場2:23】	
	06体育経営管理	第4校舎B棟 12	口頭発表③ 9:00-10:00	口頭発表@ 10:00-11:00	10:00-11:00 11:00-12:00		口頭発表 13:00-14:		
	07発育発達	ポスター会場3 独立館D201	ポスター発表① 9:00-10:00 [ポスター会場3: D201]	ポスター発表( 10:00-11:00 【ポスター会場3: D201】					
領	08測定評価	第4校舎B棟 13	<b>口頭</b> <b>発表⑤</b> 9:00-9:50		ドジウム 0-12:00		ポスター発表 ①②(責任着 座制) 13:00-13:45 【ポスター会場 4:D202】	ポスター発表 (3金(責任着 座制) 13:45-14:30 [ポスター会場 4:D202]	
	09体育方法	第4校舎B棟 J14	口頭発表⑦ 9:00-10:00	口頭発表 10:00-11:00					
		第4校舎B棟 J19	<b>口頭発表®</b> 9:00-10:00	口頭発表(10:00-11:00	11:00-12:00		-10->- ∞		
域	10保健	独立館 D413	口頭発表③ 9:00-10:00	口頭発表( 10:05-11:0			ポスター男 13:00-14: 【ポスター会場 D201】	00	
		独立館 D307	9:00-10:00	口頭発表 <b>⑦</b> 10:00-11:00	11:00-12:00		口頭発表 13:00-14:	00 14:00-15:0	Ō
	11体育科教育学	独立館 D308	9:00-10:00	10:00-11:00	11:00-12:00		口頭発表 13:00-14:		
		独立館 D309	9:00-10:00	口頭発表® 10:00-11:00	11:00-12:00				
	12スポーツ人類学	独立館 D310		复⑤ 10:3	<b>ター発表</b> 0-11:30 0310】				
	13アダプテッド・ スポーツ科学	独立館 D411	口頭発表③ 9:00-10:00	口頭発表 ④ 10:00-10:45 10	5				
	14介護福祉・ 健康づくり	独立館 D412		口頭発表 10:00-11:					



## 諸会議のご案内

### 理事会

日 時:9月9日(月) 17:45~18:45

会 場:スポーツ棟会議室 (2F)

### 総会

日 時:9月10日(火) 9:00~10:20

会 場:独立館DB203 (BF2)

### 名誉会員懇談会

日 時:9月11日(水) 12:00~13:00

会 場:独立館D303 (3F)

### 地域協力学会連絡会議

日 時:9月12日(木) 11:30~12:20

会 場:独立館D306(3F)

### 専門領域連絡会議

日 時:9月12日(木) 12:30~13:20

会 場:独立館D306(3F)



## 情報交換会のご案内

日 時:9月11日(水) 18:15~19:45

会 場:生協食堂

会 費:1,000円(事前申込)

※当日参加されない場合、徴収した参加費の返却はいたしません



## 慶應義塾大学日吉キャンパスへの交通案内

### 【会場】

慶應義塾大学日吉キャンパス 〒223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1

#### 【交通機関】

●主要駅からのアクセス

東京駅	JR山手線(渋谷・品川方面行き)	- 目黒駅 -	東急目黒線	日吉駅
<b>米</b> 小侧	所要時間 約17分	日無例	所要時間 約17分	
並定即	JR山手線(渋谷・品川方面行き)	<b>业公田</b>	東急東横線	口士町
新宿駅	所要時間 約7分	- 渋谷駅 -	所要時間 約20分	日吉駅
世に田		東急目黒線		口士町
横浜駅-		所要時間 約17分	<del>}</del>	日吉駅

●空港からのアクセス

羽田空港 東京モノレール

JR山手線 (渋谷・品川方面行き)

所要時間 約11分

東急目黒線

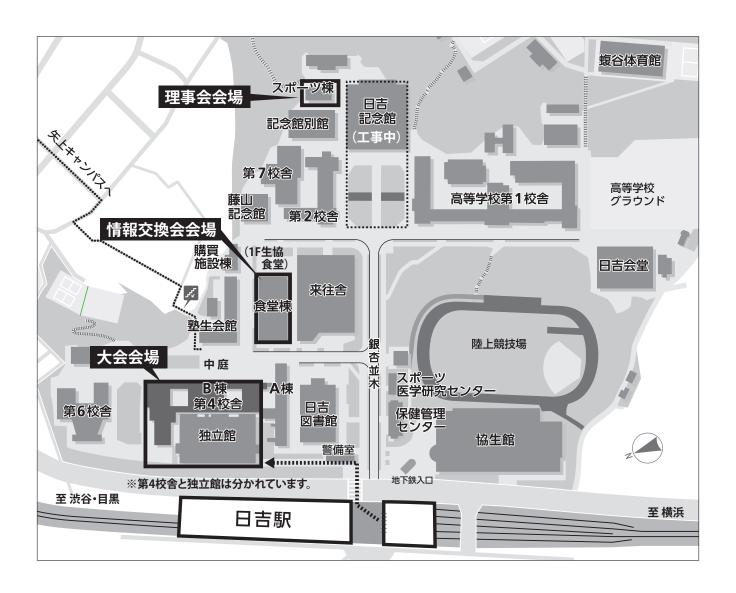
一<del>二二二二</del> 日吉駅 所要時間 約17分

運賃:約850円





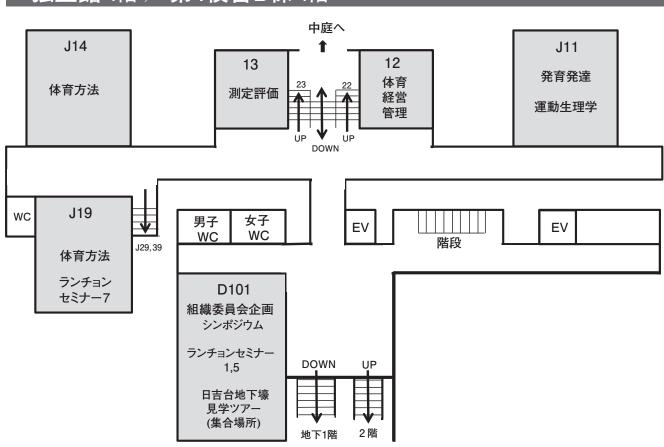
## 慶應義塾大学日吉キャンパス 会場案内

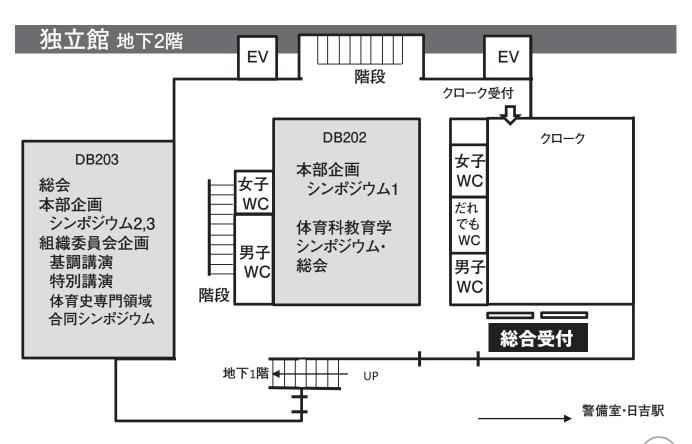




## 会場案内(フロアマップ)

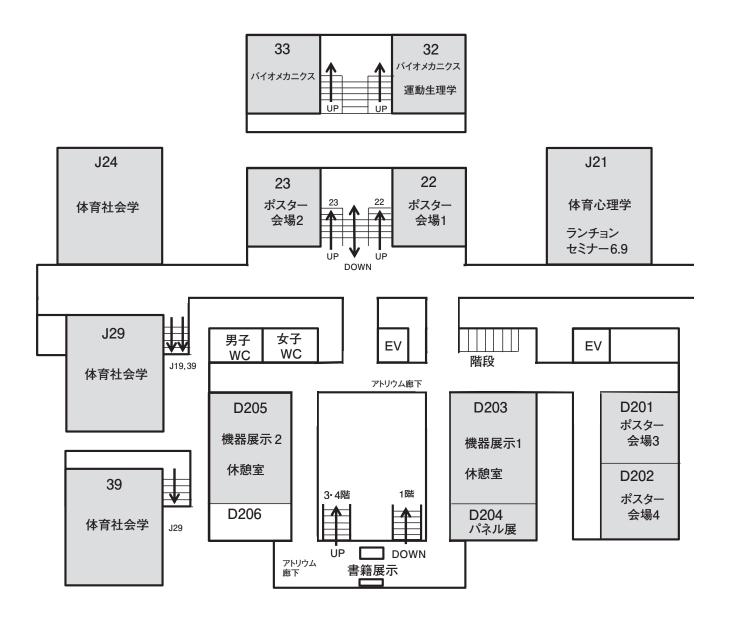
### 独立館 1階 / 第4校舎B棟 1階





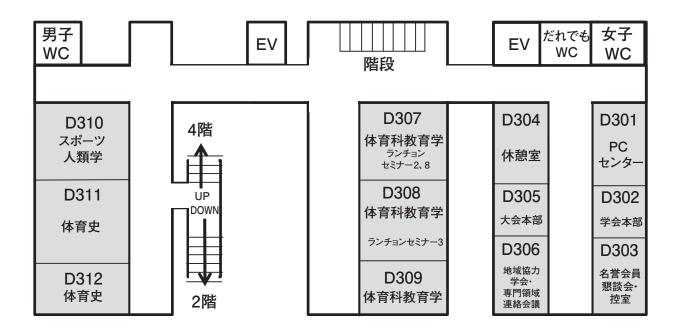


### 独立館 2階 / 第4校舎B棟 2階·3階

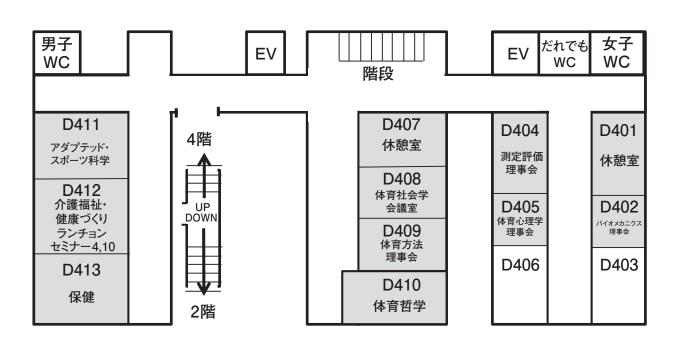




### 独立館 3階



## 独立館 4階





# 協賛 (五十音順)

## 【機器展示】

展示会場:独立館 D203/D205 9月10日(火)10:00-17:00、11日(水)9:00-17:00、9月12日(木)9:00-15:00

出展企業名	出展紹介内容
アーカイブティップス 株式会社	QUALISYS社製3次元モーションキャプチャシステム、COMETA社製ワイヤレス筋電・IMUシステム、EXELIO社製GPSトラッキングシステム等、全世界で信頼と実績のある計測器を出展しております。
アークレイ株式会社	アークレイは京都で創業し約60年になる検体検査機器メーカーです。 乳酸性閾値(LT)の観測に使用できる乳酸測定器やパフォーマンスにも影響する口腔環境をスクリーニングできる唾液検査用装置を展示予定です。
インターリハ株式会社	日々進化し続ける世界の最新計測機器にも柔軟に対応、計測の今をリアルタイムにお伝えします。 インターリハ株式会社は多種多様な「計測のソリューション」をラインナップしております。
インデックス有限会社	普通の医療機器とはひと味違った製品を体験していただけます。 今回は脊柱をトレースするだけでその状態、要素を正確に計測分析する機器や筋肉中の酸素量をその場 で測定できる画期的な機器などをご紹介します。
株式会社 大橋知創研究所	有酸素・無酸素の測定&トレーニングが可能な「風神雷神」 ■これまで以上の高精度・高負荷・高機能 ■ワットとトルクのプログラム12種類にタイムトライアルテストを追加 ■競技者、指導者の要望を形に
株式会社 ダートフィッシュ・ジャパン	世界各国で特許を取得した高度な映像処理技術で、動作分析・指導から情報の共有化までスムーズに。 スポーツ、医療、研究、授業など幅広い分野で活用されている世界標準映像コーチング分析ソフトウェアを紹介 させていただきたいと考えております。
株式会社DKH	AIデジタイズなど、新たな機能が搭載されました "2次元/3次元ビデオ動作解析システム Frame-DIAS6" をはじめ、ワイヤレス2軸ゴニオメータおよびEMGアンプ" DataLITE"、"マルチジャンプテスタⅡ・ワイヤレス版"を出展しております。
株式会社テック技販	【世界初!!負荷制御型トレッドミル】 ベルトの負荷制御により実際の地面を蹴るような感覚をトレッドミル上で実現。トレーニングとフォースプレート(床反力)計測を同時に行えます。デモ体験可能です。
株式会社 ナックイメージテクノロジー	スポーツの3次元計測用小型マルチハイスピードカメラと映像解析ソフト、ハイスピードカメラによるマーカレス モーションキャプチャシステム、様々な動作解析手法をご提案します。
株式会社ノビテック	ノビテックは『見えない事象を可視化する。』スポーツ技能を数値化するシステムを提供、トータルでサポートします。3 次元モーションキャプチャ "VENUS3D R"、慣性センサー "4DMotion"、ハイスピードカメラ "Phantom"、水陸同時撮影"watlicam"
株式会社フォーアシスト	各種計測機器、センサ、トレーニング機器を展示しております。 ◆新商品◆①マーカーレス骨格検出ソフトPose-Cap②外部同期可能な超音波計測機 ご覧いただけます。 ぜひお立ち寄りください。
株式会社ユニタック	弊社で開発した疼痛緩和用半導体レーザ治療器Sheepを1台参考用に出展させて頂きます。レーザを用いることで早期にスポーツ選手特有の痛みの緩和を行いスポーツ領域で効果を発揮できると期待しています。
旭光物産株式会社	弊社は新製品、エルゴメーター「サイクラス2」とトレッドミル「バリアント2スポーツ」を展示致します。 両製品共に高負荷領域の運動負荷試験/運動生理実験等において研究者の納得のいく結果を御提供します。
合同会社 ワイワイファクトリー	タイム測定装置FASTRun-Rは手軽でコンパクト、それでいて正確な測定ができます。陸上選手はもちろん、サッカー、野球、アメフト、ラグビー、テニス、など多くの球技選手にもお使いいただいております。
酒井医療株式会社	米国NORAXON社製「Portable Lab」は"研究室を持ち運ぶ"をコンセプトとした新シリーズです。 またハイエンド筋電計「ULTIUM EMG」や無線式ハンディエコー「SONON」も本学会に初出展します。
新光電子株式会社	トレーナーが感じる触診(皮膚表層)のデジタル化実現のため、やわらかさセンサーSOFTGRAMを紹介いたします。今回筋肉のやわらかさを定量化できる特注仕様タイプもお持ちしますので是非実物をもって体感測定してください!
セノー株式会社	「100年歩けるカラダへ」。新たな取組みとして、体幹訓練機器「トランクソリューション」と、歩行を可視化する「キューズタグウォーク」、運動をする中で脳も活性化する運動タイル「モトタイル」の3点を出展します。
SOMANIKS	SOMANIKS(ソマニクス)は、刺さない鍼をコンセプトに開発された痛みを緩和するパッチタイプの医療機器です。プロの野球チームやサッカーチームでも採用されているこの製品をセルフケアに活用してみませんか?



東京医研株式会社	東京医研の製品開発指針は、安全・高性能・高効果です。デリケートなアスリートの身体管理を「光線治療器」、 「超音波治療器」、「ストレス検査器」によりサポートします。是非、展示ブースにてご体感を。
凸版印刷株式会社	スポーツの動作や技術モデルをもとに評価・診断し、改善するループ型システムを紹介する。
トビー・テクノロジー 株式会社	Tobii Pro グラス2は、スポーツ中にプレイヤーがどこに視覚的注意を向けていたかを測るために適したアイトラッカーです。レコーディング中のヘッドユニットが動いても視線データのズレを補正します。
日本キスラー株式会社	キスラーのフォースプレートは、測定範囲が広く、応答性に優れ、精度の高い測定が可能です。スポーツ分野では 多くの実績があり、アスリートのパフォーマンスを評価する最適なツールです。
バイオリサーチセンター 株式会社	ADInstruments社のPowerlabシステムを中心にウエアラブル記録装置などのご紹介、 他にMYOTON(組織硬度計)、教育用小型エコー(超音波エコー)の展示もいたします。
(有)エスアンドエムイー	世界初のウェアラブル型呼気ガス分析装置とゴールドスタンダードと言われるミキシングチャンバー方式の呼気ガス分析装置、及びテレメータ筋電計を展示します。車椅子対応オーダーメイドトレッドミルをご紹介致します。
富士医科産業株式会社	研究用特殊装置を扱うスポーツ医科学機器メーカーです。 高精度の温湿度制御を実現するFuji人工環境制御室と、常圧型の低酸素研究・トレーニングに多くの実績がありますFuji常圧型低酸素トレーニングルームをご案内致します。是非お立ち寄りください。

### 【大学·団体紹介】

展示会場: 独立館 D203/D205 9月10日(火)10:00-17:00、11日(水)9:00-17:00、9月12日(木)9:00-15:00

大学・団体名	紹介內容
公益財団法人 健康・体力づくり事業財団	健康・体力づくりに関するリーフレットや健康運動指導士・実践指導者に関する資料、各種調査研究報告 書及び、今年11月に開催のTAFISAワールドコングレス2019東京に関する資料の展示・配布をします。
公益財団法人 ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会	ワールドマスターズゲームズは、概ね30歳以上のスポーツ愛好者であれば誰でも参加できる生涯スポーツの国際総合競技大会です。4年ごとに開催され、第10回となる2021年には、アジアで初めて、日本・関西で開催されます。
順天堂大学大学院 スポーツ健康科学研究科	順天堂大学大学院 スポーツ健康科学研究科リーフレット、および 2020年度大学院入試(博士前期課程・博士後期課程)関連資料を配布致します。
筑波大学・鹿屋体育大学 大学体育スポーツ高度化 共同専攻	筑波大学と鹿屋体育大学が共同で設置する3年制博士課程です。大学体育スポーツの充実のために、 教育指導と実践的研究の循環を高度に展開できる人材育成を軸とした、教育指向型のカリキュラムを編成しています。
特定非営利活動法人 日本トレーニング指導者協会	日本発のトレーニング指導の資格認定団体として、様々な対象や目的に応じて科学的根拠に基づく運動 指導ができる「トレーニング指導者®」の資格認定事業を行っています。資格や養成校制度についてご案 内致します。

### 【図書展示】

展示会場: 独立館2階アトリウム廊下 9月10日(火)10:00-17:00、11日(水)9:00-17:00、9月12日(木)9:00-15:00

アイオーエム アイ・ケイコーポレーション 朝倉書店 市村出版 化学同人

杏林書院 慶應義塾大学出版会 講談社 晃洋書房 真興交易医書出版部

大修館書店 鉄筆 東京教学社 道和書院 ナップ 西村書店 不昧堂出版 文光堂 ベースボール・マガジン社 ミネルヴァ書房 ラウンドフラット

### 【物品提供】

大正製薬株式会社 株式会社榮太樓本舗

コカ·コーラボトラーズジャパン株式会社ベンディング鶴見 中北薬品株式会社 有限会社トライオール

### 【寄付】

久保田潤一郎クリニック 特定非営利活動法人日本アンチエイジング医療協会 光中央診療所



## 大会役員・大会組織委員会

大会名誉会長 慶應義塾 塾長 長谷山 彰

大会会長 一般社団法人 日本体育学会 会長 深代 千之

組織委員長 石手 靖

副委員長 佐々木 玲子 船渡 和男

事務局長 村山 光義

副事務局長 野口 和行 田中 重陽

**総務** 加藤 幸司 加藤 大仁 東原 綾子 福士 徳文 山内 賢 柏木 悠

**企 画** 板垣 悦子 稲見 崇孝 坂井 利彰 鳥海 崇 村松 憲

渉 外須田 芳正 永田 直也経 理奥山 静代 吉田 泰将監 事太田あや子 平野 裕一

## 大会実行委員会

委員長石手靖副委員長佐々木玲子

委員 板垣 悦子 稲見 崇孝 牛山 潤一 仰木 裕嗣 奥山 靜代 柏木 悠

坂井 加藤 幸司 加藤 貴昭 加藤 大仁 木村 真規 利彰 沢井 史穂 須田 芳正 田中 重陽 東海林祐子 鳥海 崇 永田 直也 野口 和行 東原 綾子 桶口 裕輔 福士 徳文 藤本 秀樹 船渡 和男 水鳥 寿思

村山 光義 村松 憲 森 将輝 山内 賢 吉田 泰将

#### 専門領域担当

体育哲学 加藤 幸司 佐藤 洋

体育史 鳥海 崇 神田 俊平

山内 賢 博司 修 工藤 保子 体育社会学 水上 高峰 体育心理学 永田 直也 加藤 貴昭 森 将輝 工藤 和俊 真規 手島 運動生理学 奥山 靜代 木村 元彦 貴範 宮地 バイオメカニクス 稲見 崇孝 水鳥 寿思 柏木 悠 吉岡 伸輔

体育経営管理学 吉田 泰将 萩 裕美子 作野 誠一

発育発達 東原 綾子 熊川 大介

測定評価 福士 徳文 田中 重陽

体育方法 村松 憲 野口 智博 東海林祐子

保健 須田 芳正 須甲 理生

体育科教育法 奥山 靜代 東原 綾子 鈴木 理 松田 恵示

スポーツ人類学 加藤 大仁 波照間永子 アダプテッド・スポーツ科学 野口 和行 岩沼聡一朗 介護福祉・健康づくり 板垣 悦子 太田あや子

実行委員会事務局池田裕紀子高木 聡子綿田 恭子本部事務局山野 陽子齋藤 うい宮川 山水



## 参加者へのお知らせ

#### 1. 演題番号

1) 一般発表の演題番号の表示は、先頭から専門領域記号 - 発表日 - 発表方法 - 順番を示しています。

#### 専門領域記号

00 哲:体育哲学01 史:体育史02 社:体育社会学03 心:体育心理学04 生:運動生理学05 バ:バイオメカニクス06 経:体育経営管理07 発:発育発達08 測:測定評価09 方:体育方法10 保:保健11 教:体育科教育学

12 人:スポーツ人類学 13 ア:アダプテッド・スポーツ科学 14 介:介護福祉・健康づくり

**発表日** 9月10日 (大会1日目):-10- 9月11日 (大会2日目):-11- 9月12日 (大会3日目):-12- **発表方法および順番** 口頭発表:ロ-01 ~ ポスター発表:ポー01 ~

例) 05 バ-10 -ポ-02 → バイオメカニクス専門領域-9月10日-ポスター発表-2番目 11 教-12 -ロ-16 → 体育科教育学専門領域-9月12日-口頭発表-16番目

2) 域横断セッションの演題番号の表示は、先頭からテーマ - 順番を示しています。

#### 領域横断セッションテーマ記号

オリパラ:オリンピック・パラリンピック トレーニング:トレーニング 大学生:大学生

例) オリパラ-02 → オリンピック・パラリンピック-2 番目 ※領域横断セッションはすべて9月10日(火)、ポスター発表です。

#### 2. 総合受付

#### 開始時刻

9月10日 (火)  $\sim$  9月12日 (木) 8:15  $\sim$  独立館DB201教室前 受付は、ネームカードに表示してある2次元バーコードを使用します。

#### 大会参加証・ネームカード

第70回大会参加証およびネームカードはプログラムと同時に事前に送付いたします。 必ず持参し、大会期間中は常に身に付けてください。

(再発行に関しては、お時間をいただく場合がありますのでご了承ください。)

#### 参加費未納者

大会参加費未納の会員で当日参加される方は、総合受付で大会参加費10,000円 (学生は5,000円) をお支払いください。 非会員で大会参加される方も大会参加費11,000円 (学生は5,000円) をお支払いください。

注) 学生として参加される方は、学生の身分を証明できるもの(学生証等)をご提示ください。

#### 予稿集の購入

当日予稿集購入希望者は総合受付にて2.000円で購入できます。

#### クローク(時間と場所)

9月10日(火)·11(水) 8:15 ~ 18:00 独立館DB201 9月12日(木) 8:15 ~ 15:30 独立館DB201



## 発表者へのお知らせ

#### 1. 口頭発表

#### ① パソコン (PC)・プロジェクターを使用する場合

口頭発表では、学会事務局の用意する共用PC (Windows 10/ Office 2016)での発表を原則とします。ただし、動画や共用PCにインストールされていないソフトウェアを使用する場合は、ご自身でPCをご準備ください。ご自身のPCを使われる場合であっても、必ずPCセンター (D301教室)にて受付を済ませ、持込PCを使用する旨をお伝えください。発表時間は座長の指示に従ってください。事前受付の期日は以下の表をご覧ください。

#### セッション別PCセンター事前受付期間

	セッション	PCセンター事前受付期間
0月10日 (水) 1日日	午前	発表セッション開始の1時間前まで
9月10日 (火) 1日目	午後	前日 (9月10日) の12時まで
9月11日 (水) 2日目	午前	前日 (9月10日) の16時まで
9月11日(水)2日日	午後	当日 (9月11日) の12時まで
9月12日 (木) 3日目	午前	前日 (9月11日) の16時まで
9月12日(水)3日日	午後	当日 (9月12日) の12時まで

#### -A. 共有PCを使用する場合

・発表データの受付はデータのみとなります。USBメモリ (type Aのみ) にPowerPointファイルを入れPCセンターに提出 ください。お持ちいただくUSBメモリは、アンチウイルスソフトを使用してマルウェアに感染していないことを事前にご 確認ください。お持ちいただいたUSBメモリはその場でお返しします。データの受付作業はスタッフが行います。

#### 【データを提出される場合の注意点】

- ・発表データを作成する際、使用するフォントはWindows標準のものをご使用ください。特殊なフォントを使用すると文字ズレやレイアウト崩れの原因となります。
- ・動画は、発表データと動画を合わせてフォルダにまとめてから、PowerPointに埋め込みを行ってください。
- ・作成いただいたデータは、他の機種で読み取れない場合があります。他の機種でも読み取れることを、あらかじめ確認ください。

#### -B. 持込PCを使用する場合

・持参したPCを使用される場合、PCの映像出力端子はVGA(ミニDsub-15pin:ピンが三段)に限ります。音声用のステレオケーブルは使用できません。最近の薄型ノートPCやモバイル型ノートPCにはこの端子が付いておらず、変換ケーブルが必要な場合があります。Apple社製のPCを使用の場合も含め、必ず自身で変換ケーブルを持参ください。事務局ではご用意しかねます。解像度は、XGA(1024×768)までといたします。PCのフリーズなどには大会運営本部は一切の責任をもちません。また、それによる発表時間の延長も認めません。

#### 【持込PCを使用する場合の注意点】

- ・HDMIやMini Display Portなどでの接続はお受けしておりません。
- ・電源アダプターも必ず持参ください。
- ・iPadなどタブレット端末による発表はできません。
- ・スムーズな進行のために、"発表者ツール"の使用はご遠慮ください。
- ・スクリーンセーバー、ウイルスチェック、ならびに省電力設定をあらかじめ解除しておいてください。解除されていない場合、発表中にスクリーンセーバー等が作動する可能性があります。



#### ②資料を配布する場合

- ・配布資料に演題番号、演題名、演者氏名、演者所属を明記してください。
- ・配布する資料の部数は、発表者自身の判断でご準備ください。なお、資料の印刷も自身でご準備ください。
- ・発表するセッションが開始される30分前までに発表会場受付にご提出ください。

#### 2. ポスター発表

- ・ポスターパネルのサイズは90cm (横) × 210cm (縦) です。左上角には大会事務局が用意する演題番号を貼付します。 ポスターの最上部には、演題、演者、共同研究者、所属を各自記載してください。演題番号と押しピンは事務局が用意 いたします。
- ・演題1つに対して1枚のポスターパネルが用意されます。
- ・発表者は各会場で受付を済ませてください。受付およびポスターの掲示は発表当日の以下の時間から可能です。 各発表前に余裕をもって掲示してください。

1日目:9月10日(火)10:00~ 2日目:9月11日(水)8:30~ 3日目:9月12日(木)8:30~

・17:00以降に掲示してあるポスターは大会事務局にて撤去し、処分させていただきます。

#### ①領域横断セッション

- ・領域横断セッションは、「オリンピック・パラリンピック」「トレーニング」「大学生」の全てのセッションを9月10日13時30分~14時30分に行います。各会場の詳細についてはP10の会場図で確認ください。22、23、D201教室を予定しています。
- ・セッションは "①紹介時間" と "②ポスターでの討議" の2つに分かれます。
- ・"①紹介時間"では発表者1人に1分の時間が割り当てられ、自身を紹介するスライドにて発表を行います。当該セッションの発表者全員の発表が終了し次第、"②ポスターでの討議"に移行します。
- ・ "①紹介時間" で使用するスライドの詳細については、大会組織委員会から発表者に事前に連絡します。
- ・"①紹介時間"と"②ポスターでの討議"の進行は各会場のモデレータの指示に従ってください。

#### ②一般研究発表

- ・ポスター会場は22、23、D201、D202教室のいずれかとなります。会場の詳細についてはP10の会場図で確認ください。
- ・ポスターセッションは、各領域によって掲示の時間が異なります。発表時間を確認の上で掲示をお願いします。発表者は、各専門領域が指定する責任時間帯に各自のポスターの前に立ち、参加者と討議願います。なお、座長がいる場合は、その指示に従ってください。

# 3. その他 (基調講演・特別講演・ランチョンセミナー・シンポジウム・キーノートレクチャー等)

発表者は、会場に到着されましたら受付にお立ち寄りください。【1.口頭発表】と同様に共用PCもしくは持込PCにてご発表いただけます。

#### 4. 学会年度会費および大会参加費未納者について

- ・発表者および共同研究者に第70回大会参加費あるいは日本体育学会年度会費の未納者がいる場合には、発表後であっても、学会大会ウェブサイトにて演題取り消しの告知をいたします。
- ・日本体育学会年度会費は、指定口座から自動引き落としになっています。7月に口座残高が不足していた会員、新規会員で引き落としに間に合わなかった会員においては、11月に再度引き落としがあります。



### 5. 発表の時間

発表部門	形式	発表時間	質疑•応答時間	形式	発表時間	質疑·応答時間
横 領域横断セッション				ポスター	1分(自己紹介)	時間内フリー ディスカッション
00 体育哲学	口頭	20分	10分			
01 体育史	口頭	15分	5分			
02 体育社会学	口頭	15分	10分	ポスター	5分/1人	フリーディスカッション
03 体育心理学	口頭	15分	4分30秒	ポスター	責任着座制(奇数・偶数別、各60分)	
04 運動生理学	口頭	10分	3分	ポスター	5分	2分
05 バイオメカニクス	口頭	10分	3分	ポスター	フリーディスカッション	責任着座制
03 //4/3 //3—9/					* ショートプレゼンテーション 2分30秒	
06 体育経営管理	口頭	15分	5分	ポスター	時間内フリー	ディスカッション
07 発育発達	口頭	7分	3分	ポスター	時間内フリー	ディスカッション
08 測定評価	口頭	7分	3分	ポスター	2分	責任着座制
09 体育方法	口頭	10分	5分	ポスター	時間内フリー	ディスカッション
10 保健	口頭	10分	5分	ポスター	5分	フリーディスカッション
11 体育科教育学	口頭	10分	5分	ポスター	時間内フリーディスカッション	
12 スポーツ人類学	口頭	15分	5分	ポスター	時間内フリーディスカッション	
13 アダプテッド・スポーツ科学	口頭	12分	3分	ポスター	3分	責任着座制
14 介護福祉・健康づくり	口頭	12分	3分	ポスター	時間内フリー	ディスカッション

- ・各領域の口頭発表:発表終了2分前 (呼び鈴回)、発表終了 (呼び鈴2回)、全体終了 (司会者から指示)
- 注1)体育心理学専門領域のポスター発表では、演題番号の末尾が奇数である発表者の責任着座時間を9:00-10:00、 偶数である発表者の責任着座時間を10:00-11:00とします。



## 座長へのお知らせ

座長は、担当セッション開始20分前までに(当日最初の座長の場合は30分前までに)必ず会場前で受付をお済ませください。



# 託児所のご利用案内

保育室利用のお申し込みにあたっては、下記の事項をご確認の上、「託児申込書/同意書」「調査票」をご記入・ご署名の上、8月27日(火)までにFAXにて送信をお願い致します。

申込書類は大会ホームページ https://ipe.hc.keio.ac.jp/jspe70/ よりダウンロードください。

#### ◇ご利用対象者◇

日本体育学会第70回大会参加者を保護者とする生後6ヶ月~小学生6年生までのお子様 ※当日申し込みはできません(要事前申込)

#### ◇託児料◇

·4時間未満 1000円/1日(税込)

·4時間以上 2000円/1日(稅込)

#### ◇託児場所◇

※お部屋はご利用者様へのみ、後日お知らせいたします。

#### ◇開設時間◇

◆2019年9月10日(火)8:30~18:00

◆2019年9月11日(水)8:30~18:00

◆2019年9月12日(木)8:30~15:00

#### ◇託児申込〆切◇

2019年8月27日(火)

#### ◇託児お申込み先◇

〒223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1 慶應義塾大学体育研究所内

日本体育学会第70回大会事務局 託児担当

TEL&FAX:045-565-1656 E-mail:jimu\_jspe70-group@keio.jp

#### ◇託児受託企業◇

株式会社クラッシー (公益社団法人全国保育サービス協会正会員) TEL03-5426-2288

#### 【託児ご利用規約】

- ①お子様をお預け・お迎えの際には、保護者の方の身分証明書を確認させていただきます。当日は必ず、お名前 ・ご住所が確認できる「身分証明書(保険証・免許証・母子手帳)」をお持ち下さい。
- ②お預けの前に、必ずお手洗いをお済ませください。
- ③お預けされる当日の朝、必ず体温を測り、お預けの際にお知らせください。
- ④お持ちいただくもの
  - ・保護者の方の身分証明書(保険証・免許証等) ・保育中に必要と思われるもの(要記名)

✓ おむつ(4~5枚)・おしりふき・お着替え、乳幼児をお預けになる場合、哺乳瓶・粉ミルク※おやつ、飲み物はこちらでご用意いたします。ただし、アレルギーの方はご持参ください。

- ⑤昼食は、お子様と一緒にお取りいただくか、ご持参の昼食を託児室にて保育士よりさしあげることも可能です。
- ⑥お迎え時は、受付時にお渡しした「お子様お預かり証」をスタッフにご提示ください。また、お迎えはお預け時と同じ方にお願い致します。代理の方へのお引渡しを希望される場合は、受付時にお申し出下さい。
- ⑦お迎えが予定時刻より15分以上経過した場合、緊急連絡先へ確認を取らせていただきます。
- ⑧お預かり開始後37.5度以上の発熱が出た場合には、ご連絡を差し上げお迎えをお願いする場合がございます。
- ⑨伝染病の病気 (水疱瘡、はしか、風疹など)の方、その他当方のやむを得ない理由により、入室をお断りさせていただく場合がございます。
- ⑩お子様の体調が急変した場合の応急処置、または火災などにより緊急避難を要する場合は、その処置をシッター会社(株式会社クラッシー)にお任せいただきます。また、緊急連絡先にも連絡を取らせていただきます。
- ①不足の事故に対応するため、シッター会社が保険に加入しておりますが、日本体育学会ならびに日本体育学会第70回大会組織委員会は事故の責任を負いかねます。万一事故が発生した場合、その事故がシッター会社の重大な過失によって発生したものでない限り、事故に対しての責任は負いかねます。
- ②守秘義務につきましては、サービスを提供する上で知り得た事項は、正当な理由なく第三者へ漏洩いたしません。この守秘義務は、託児終了後も継続するものとします。



## 一般社団法人日本体育学会 研究倫理綱領

#### 〔策定の趣旨と目的〕

一般社団法人日本体育学会(以下:本学会)は、体育学の研究に関する「一般社団法人日本体育学会研究倫理綱領」(以下:研究倫理綱領)を定め、公表する。

本研究倫理綱領は、本学会の全ての会員が遵守すべき倫理規範であり、会員は、本研究倫理綱領に基づき得られた知的財産を適切に社会に還元し、体育学の研究を進展させなければならない。体育学の研究は、「個人情報保護法」や「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」等に基づく研究対象者の人権尊重、社会的影響等について常に配慮すべきものでなければならない。

会員は、研究者としての社会的責任を自覚し、研究対象者の人権の尊重、研究対象者のプライバシーの保護、研究対象者の不利益への配慮などに備えなければならない。体育学研究の進展は、研究対象者の信頼および社会的理解の上にしか成り立たないことを自覚しなければならない。

本学会は、会員に対し、体育学の研究における倫理的な課題への自覚と認識を強く促し、ここに研究倫理綱領を定める。

#### 第1条(倫理的妥当性)

会員は、体育学の研究に関する研究倫理綱領を遵守しなければならない。

#### 第2条 (人権の尊重)

会員は、体育学の研究にあたり、人権を最大限尊重するとともに、研究対象者へのインフォームド・コンセント、社会的弱者にあってはインフォームド・アセントの考え方を遵守しなければならない。

#### 第3条(プライバシーの保護)

会員は、体育学の研究にあたり、プライバシーの保護に最大限留意しなければならない。

#### 第4条(公正と信頼の確保)

会員は、体育学の研究にあたり、公正を維持し、社会の信頼を確保しなければならない。

#### 第5条(差別の禁止)

会員は、体育学の研究にあたり、年齢・障害の有無・人種・肌の色・性別・性的指向・言語・宗教・政治的またはその他の意見・国あるいは社会的な出身・財産・出自やその他の身分など、あらゆる形態の差別をしてはならない。

#### 第6条(ハラスメントの禁止)

会員は、体育学の研究にあたり、セクシャル・ハラスメントやアカデミック・ハラスメントなど、いわゆるハラスメント行為をしてはならない。

#### 第7条 (研究資金の適正な取扱い)

会員は、研究資金を適正に取り扱わなければならない。

#### 第8条(著作権侵害等、不正行為の禁止)

会員は、著作権の侵害、剽窃・盗用・二重投稿等の不正行為をしてはならない。

#### 第9条(利益相反マネジメント)

会員は、利益相反マネジメントの適切な開示に努めなければならない。

#### 第10条 (研究成果の公表)

会員は、定款に定められた事業を通して、研究成果の公表に努めなければならない。

#### 第11条(相互批判・相互検証の場の確保)

会員は、相互批判・相互検証の場の確保に努めなければならない。

#### 第12条(研究倫理綱領の周知)

本学会は、研究倫理綱領の周知の徹底に努めなければならない。

#### 附則

本学会は、体育学の研究における倫理的な課題に応じるため、「研究倫理委員会」を置く。

本研究倫理綱領は2018年6月16日より施行する。

本研究倫理綱領は、本学会総会の議を経て、変更することができる。